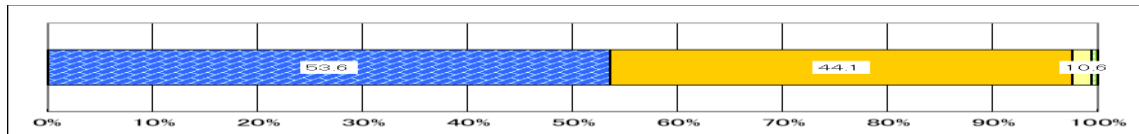


甲斐市立 玉幡中学校 自己評価書	
令和 2 年 1 月 2 7 日 (月) 作成	
校長 「 新海直仁 」 記述者 職名 (教諭)「河西よしみ」	
学校教育目標 「ふるさとを愛し、高い知性と豊かな情操、たくましい意志と創造的な個性をもつ心身ともに健全な生徒の育成」	
学校経営方針 ・奉仕活動・ボランティア活動を中心に据えた特色ある学校づくりに努める。 ・次期学習指導要領を見据えた教育課程の編成・実践に努める。 ・自ら学ぶ習慣を育てる学習方法の改善と、その指導に努める。 ・基本的な生活習慣の確立と、自他の尊重を重んじる「心の教育」を推進する。 ・健康・安全指導の充実を図り、生涯体育の基礎作りを目指す。 ・生徒指導・教育相談・防災教育等の充実を図る。 ・学校・家庭・地域の連携を深め、地域とともに歩む教育活動の推進に努める。 ・学校の教育活動全体を通して、体系的なキャリア教育の推進に努める。	
1 全体評価 ○今年度の総合評価は、49 観点全てで最頻値が A または B の評価となっている。 ○「Ⅲ学習指導」の項目で、「学びの意欲を喚起する授業・質問や発言が出てくる授業・宿題や家庭学習の指導」において B 評価が高い。 ○「Ⅵ学校の特色に関して」の項目においては、全観点においてほぼ A 評価が最頻値となっている。 ○「生徒指導」において「職員間で生徒指導上の課題を共有した対応が行われている」の項目が特に A 評価でも高い。 ○「地域との連携」の項目で「保護者は学習指導や生徒指導に協力的である」において B 評価が高い。	
2 項目ごとの評価結果（達成状況・改善策）	
I 学校教育目標に関して・学校経営について	
達成状況	・全 8 観点中 7 観点で A 評価である。また AB 評価の合計がほぼ 95%以上となっている。 ・「P→D→C→A サイクルを生かした教育活動を行っている」について、B 評価の方が高い。 ・昨年度の課題であった「職場の福利厚生・健康管理について配慮がなされている」については、A 評価が 53 ポイントから 60 ポイントになり改善が見られた。
改善策	・「職場の福利厚生・健康管理」については、引き続き定期テストのあとの採点や成績処理のための事務処理日を各学期設けた。今年度も国の指示で勤務実態調査が行われ実際の勤務実態を意識することで仕事の効率化などを各自考えるきっかけとなった。また今年度は、1 年生が 3 クラスとなり職員減となった。そのため来年度以降も予想されるクラス減による職員減に対処し教職員のオーバーワークとならないように、できるだけノー残業デーや事務処理日を設け、行事や会議の精選、部活動の種目の検討などに取り組み、仕事の効率化および多忙化解消に努め、教員の体調管理に役立てたいと考える。 ・比較的 A 評価の低い「P→D→C→A サイクル」については、このアンケート結果を参照

	し、学習活動・行事等、様々な場面で、振り返りと今後の進め方を校内研や職員会義で確認していくことで、学校教育目標の実現を目指しより高い教育活動につなげていきたい。
Ⅱ 学校運営について（保護者用アンケート等も含めて）	
達成状況	・「職務上 報告・連絡・相談・確認 を行っている」「個人情報保護・情報セキュリティーの観点から、諸表簿や文書、記憶媒体を適切に管理・活用している」において A 評価が他の A 評価項目より高い。 ・「危機管理マニュアルを理解している」「職員間のコミュニケーションがとれている」の観点で、他に比べ B 評価が高い。 ・「校内研究に主体的に関わっている」について昨年度は B 評価だったが A 評価となっている。
改善策	・「施設設備を定期的に点検し、整備保全している」について、本校は創立 36 年を経て、様々なところが老朽化し、整備保全にも限界がある。今後、大規模な改修を期待したい。 ・本校では、成績や個人情報に関する紙のデータは、シュレッダーで処理し、また年度末には専門業者により重要紙文書の溶解処理を行っている。しかし今年度からスクールマスターの使用ができなくなった関係で、昨年度と違いネットに接続したパソコンで成績処理を行っている。そのため昨年度以上に教職員が情報管理に気を遣っていることが A 評価に反映されたと思われる。今年度同様、今後もさらに管理の徹底を図っていく必要がある。 ・危機管理については、昨年度以上に時間や場所などさまざまな設定で火災・地震等の防災指導が行われた。これらの取組を継続するとともに、今後予想されるあらゆる場面でのマニュアルの熟読を勧めるとともに危機管理への意識を高めていきたい。 ・今年度、市の指定による「学力向上」の公開を 11 月 1 日に行った。そのため全教職員が積極的に校内研究に携わったことが「校内研究に主体的に関わっている」の A 評価となった。今後も継続した取組を行っていききたい。 ・「他の教職員と相互理解や信頼関係を深めて、教育活動にあたっている」は A 評価が高いが、「職員間のコミュニケーションがとれている」には B 評価が高い。コミュニケーションを職員間でとるためには多忙化の中では、意識してとらないととることができない。前述した多忙化解消等で職員間のコミュニケーションがとれるような機会をとっていく必要がある。そして自信をもって教育にあたれるように努めたい。
Ⅲ 学習指導について（児童生徒用及び保護者用アンケート等も含めて）	
達成状況	・「民主的で規律ある学級・学年・学校集団づくりを行っている」においては A と B の評価の合計は 100%となっている。 ・「「も」「ふ」を意識した授業を行っている」「基礎・基本の定着を図る授業を行っている」の A 評価が高い。 ・昨年度は 10 観点中すべてにおいて AB の評価の合計が 90%以上となっていたが、今年度は 7 観点で B 評価が最頻値である。 ・「個に配慮した授業を行っている」では C 評価が 20 ポイントである。 ※「生徒へのアンケート」 ⑤「学校の授業は楽しいですか」〔全校集計〕（上段 H30 下段 R1） </

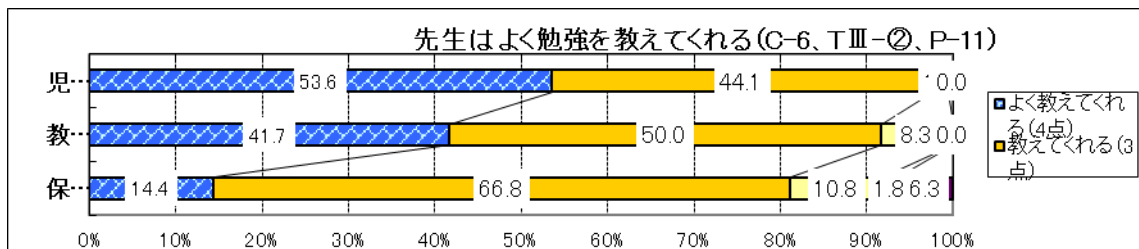
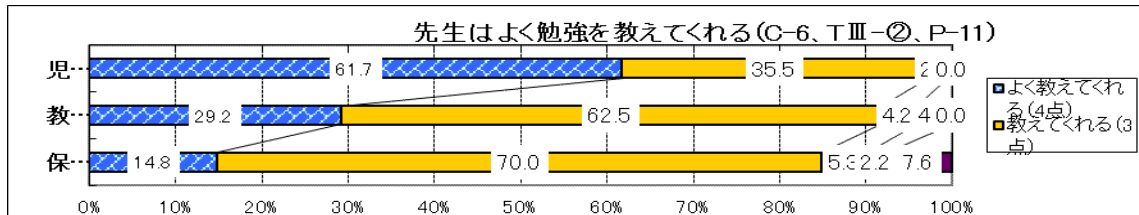
・昨年度と AB 評価はほぼ変わらない。学年別に見ると AB 評価は 1 年生 91.7%，2 年生 83.6%，3 年生 79.6%で学年を追って下がっている。

⑥先生はよく勉強を教えてくださいますか。」（R1）



・昨年度同様，98%の生徒が AB 評価である。

関連項目の AB 評価による比較 （上段 H30 下段 R1）



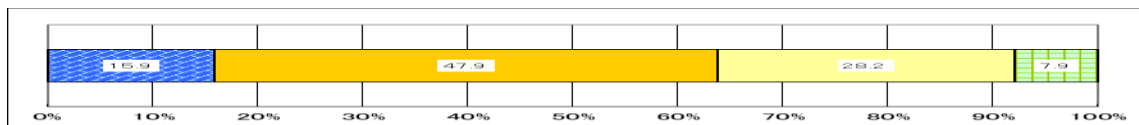
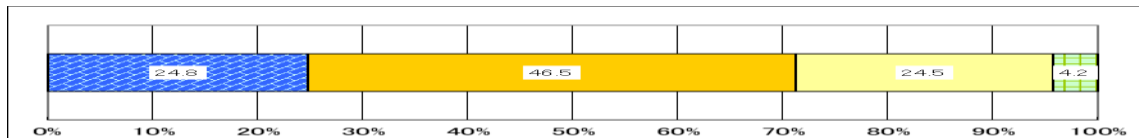
生 徒：先生はよく勉強を教えてくださいますか

教職員：生徒の学びの意欲を喚起する授業を行っている

保護者：学校は熱心に授業に取り組んでいると思う

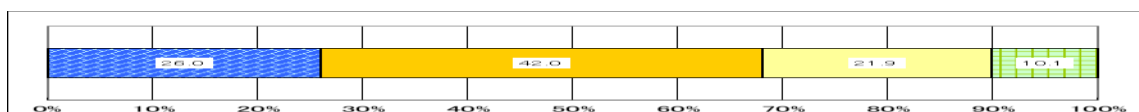
・生徒の AB 評価の合計は生徒 97.7%，教職員 91.7%，保護者 81.2%で昨年度とほぼ同じである。

⑨「授業でわからないことがあったら，先生に聞いていますか」（上段 H30 下段 R1）



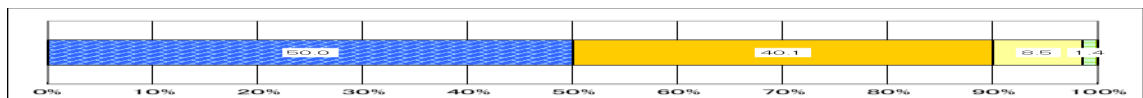
・昨年度より AB 評価の合計は下がり 3 学年とも B 評価が最頻値だった。

⑪「授業中に発言や発表をしますか」（上段 H30 下段 R1）



・昨年度より学校全体では AB 評価の合計が下がっている。AB 評価は 1 年生 57.9%，2 年生 72.2%，3 年生 71.8%で，特に 3 年生の A 評価は他の学年よりも高い。

⑫「宿題を忘れずにしていますか。」（上段 H30 下段 R1）

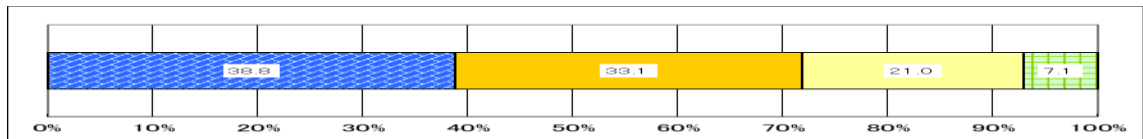


- ・昨年度と比較すると AB 評価の合計は、若干下がっている。学年別では 1 年生 87.4%, 2 年生 92.1%, 3 年生 85.7%である。

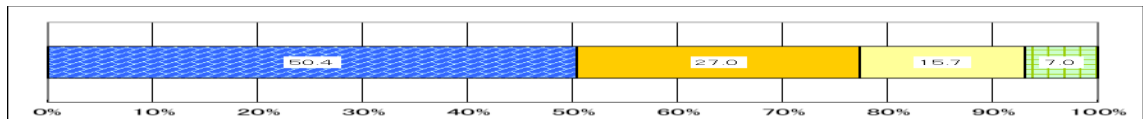
オリジナル項目

⑮あなたはよく忘れ物をしていませんか。

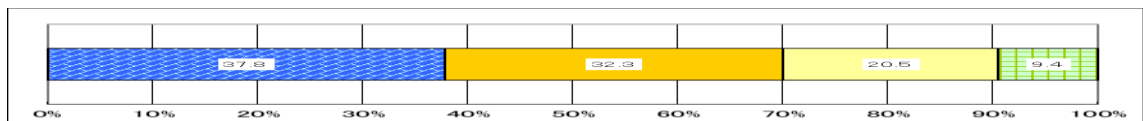
〈1 年生〉



〈2 年生〉



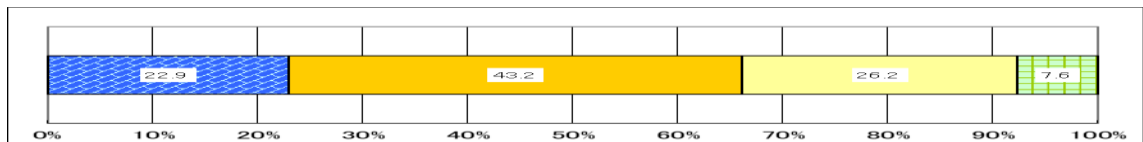
〈3 年生〉



- ・AB 評価は 2 年 3 年 1 年の順でよい。しかし、忘れ物をする人が 1 年生 32.3%, 3 年生 30% 2 年生 22.7%いる。

⑬月曜日から金曜日までは、学校以外で学年の目標時間の勉強をしていますか。

（※1 年:70 分 2 年:80 分 3 年:90 分）（R1）



- ・全体評価は過去 3 年間では最も高く、AB 評価の合計がさらに高くなっている。学年別で 2 年 1 年 3 年の順で高い。1 年生 68.8%, 2 年生 69.8%, 3 年生 53.8%である。しかし 1・2 年生 3 割, 3 年生 4 割弱の生徒が目標時間の勉強を C:あまりしていない,D:またはしていないと回答している。

⑭月曜日から金曜日までは家や図書館などで一日あたりどのくらいの時間読書を読みますか。

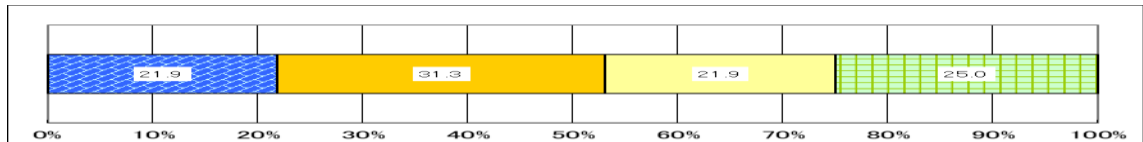
- ・「全くしない」割合が 1 年生 26%, 2 年生 30.2%, 3 年生 39.1%である。

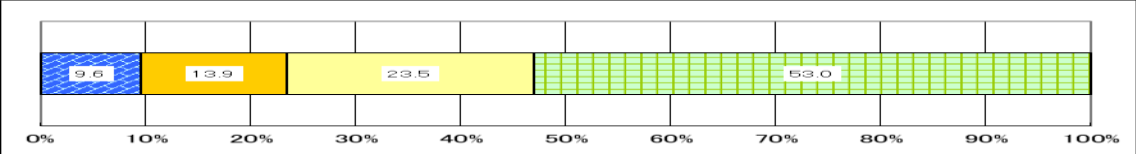
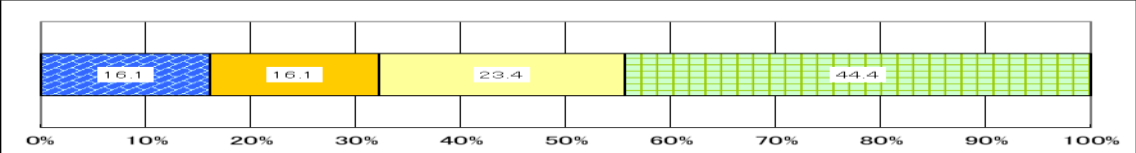
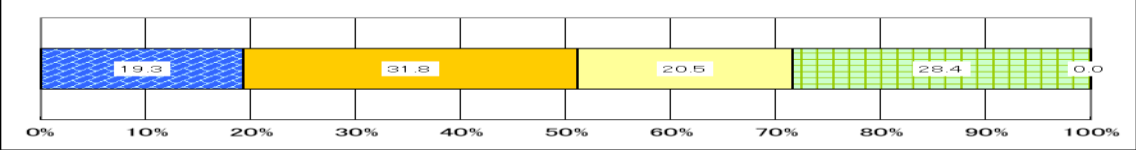
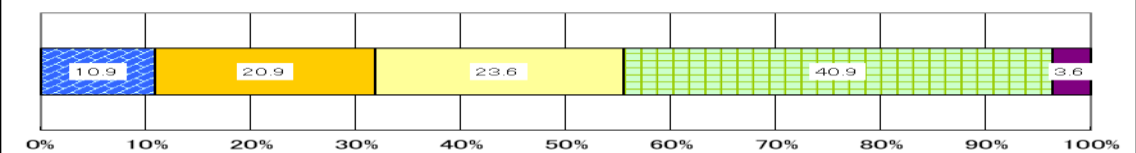
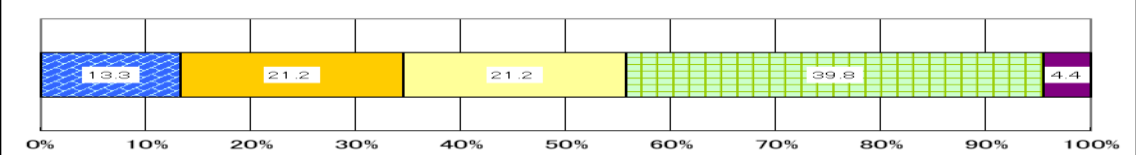
オリジナル項目

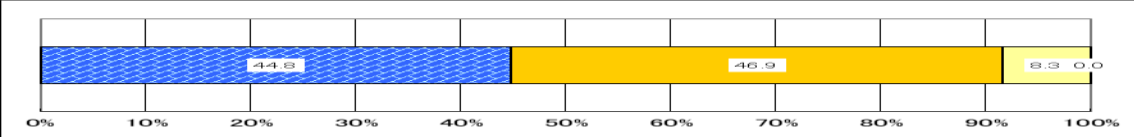
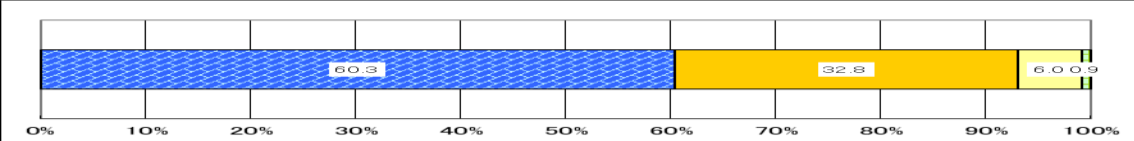
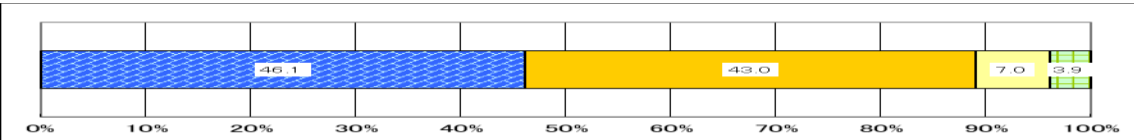
⑯あなたは家で、ゲームや携帯電話（スマホ）などを 1 日平均 2 時間以上していませんか。

A:しない B:あまりしない C:する D:よくする

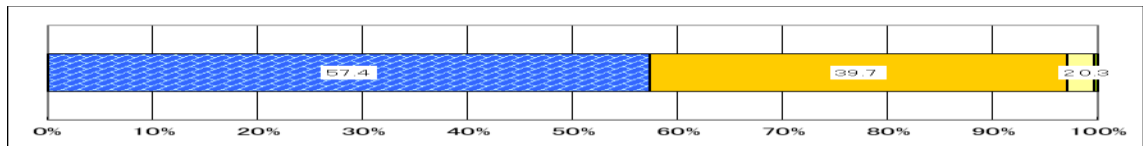
〈1 年生〉



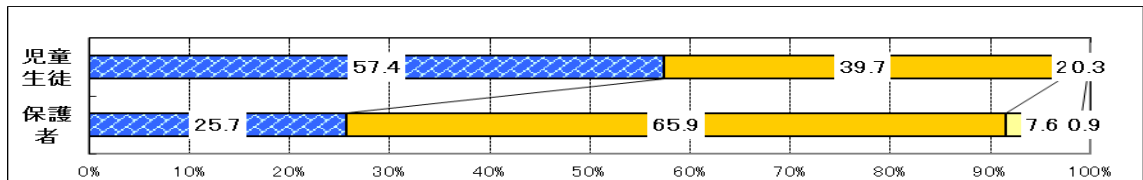
	〈2年生〉  〈3年生〉  ・昨年度と比べると、2・3年生はC:する D:よくする の割合が1割程度高くなっている。また今年度では2年3年1年の順で2時間以上ゲームや携帯電話などを使用している割合が高くなっている。 オリジナル項目 保護者㊤お子さんは毎日2時間以上ゲーム・スマホをしていないと思います。 A 全くしていない B 毎日2時間以上はしていない C 2時間以上時々している D 毎日2時間以上よくしている E わからない 〈1年生〉  〈2年生〉  〈3年生〉  ・家庭でのゲームをしている状況は、1年生では5割、2年生では6割、3年生でも6割の生徒がしている。また保護者もこの状況を同様に感じている。また学年が上がるにつれて「わからない」という回答も高くなっている。また生徒との回答と比較すると2年生では保護者と生徒との差がある。
改善策	・「学校の授業は楽しいですか」では、学年が上がるにつれてA評価が高くなっている。生徒のアンケートで、「先生はよく勉強を教えてくださいか」の観点において、AB評価の合計で比較すると、この三年間98.0%と高い数値を示している。今後もより多くの生徒が楽しくしっかり勉強できる状況を提供していきたい。 ・生徒アンケートの「授業でわからないことがあったら先生に聞いていますか」「授業中に発言や発表をしますか」のAB評価の合計は昨年度より若干下がっている。学年による差異があるが、グローバル人材の育成のためにも授業の中において積極的に「発言・発表」

	の機会を確保し、「わからないことをそのままにしない」ように教師からの働きかけを意識していきたい。 - 生徒アンケート⑫「宿題を忘れずにしていますか」の観点では、学年の差異により AB 評価が昨年度より若干下がっている。またオリジナル項目⑮「あなたはよく忘れ物をしていませんか」では 2 年生 2 割, 1・3 年生では 3 割の生徒が忘れ物をしている。毎日やりとり帳で次の日の持ち物確認を行っているが, 更に教師による丁寧な指導を行っていきたい。 - 生徒アンケート⑬の「月曜日から金曜日までは、学校以外で学年の目標時間の勉強をしていますか」の観点では、昨年度よりも AB 評価は高くなっている。しかし 1, 2 年生 3 割, 3 年生 4 割弱の生徒が CD 評価である。また⑭「月曜日から金曜日まで家や図書館などで一日あたりどのくらいの時間読書をしますか」も昨年度同様 CD 評価が 4 割から 5 割いる。一方オリジナル項目⑯「あなたは家で、ゲームや携帯電話（スマホ）などを 1 日平均 2 時間以上していない」（保護者も同様）について、1 年生 5 割弱, 2 年生 8 割, 3 年生 7 割と昨年度同学年と比べると更に高い割合でゲームしている。また保護者も同様を感じている。家庭での学習時間や読書時間はゲームに多くの時間が費やされていることが伺える。2 年間の学力向上の指定を受け校内研究会で「学力向上」「家庭学習」「忘れ物をなくす取り組み」など研究実践に力を入れて取り組んでいるが, 定着が難しい状況である。「個に応じた教育」を教員も意識して取り組む一方, スマホは社会問題化している状況であり, 今後も更に学校・家庭との連携を図り, こうした状況の改善を目指していきたい。																														
	IV 生徒指導について（児童生徒用及び保護者用アンケート等も含めて）																														
達成状況	- 教師の自己評価は、7 観点中 6 観点において A 評価が最頻値となっている。全観点で A と B 評価の合計が 90%以上である（昨年度も同様）。 ※「生徒アンケート」全校集計より ①「学校は楽しいですか」（R1） 【学年別でみた結果】 〈1 年生〉  <table border="1"> <caption>1 年生 評価割合</caption> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>44.8</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>46.9</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>8.3</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table> 〈2 年生〉  <table border="1"> <caption>2 年生 評価割合</caption> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>60.3</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>32.8</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>0.9</td> </tr> </tbody> </table> 〈3 年生〉  <table border="1"> <caption>3 年生 評価割合</caption> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>46.1</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>43.0</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>3.9</td> </tr> </tbody> </table> - 全学年でほぼ 9 割以上が、学校が楽しいと感じている。特に 2 年生は A 評価も高い。	評価	割合 (%)	A	44.8	B	46.9	C	8.3	D	0.0	評価	割合 (%)	A	60.3	B	32.8	C	6.0	D	0.9	評価	割合 (%)	A	46.1	B	43.0	C	7.0	D	3.9
評価	割合 (%)																														
A	44.8																														
B	46.9																														
C	8.3																														
D	0.0																														
評価	割合 (%)																														
A	60.3																														
B	32.8																														
C	6.0																														
D	0.9																														
評価	割合 (%)																														
A	46.1																														
B	43.0																														
C	7.0																														
D	3.9																														

②「クラス（学年）に仲の良い友達がいいますか」（R1）



【関連項目のAB評価の合計による比較】（R1）

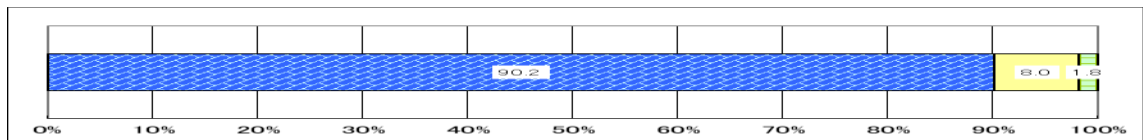


生 徒：クラス（学年）に仲の良い友達がいいますか

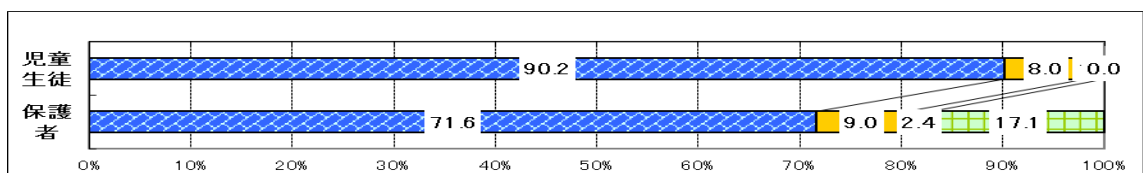
保護者：お子さんの仲の良い友達を知っている

- ・生徒も保護者も AB 評価は 90%以上である。

③「困ったことがあったら、相談できる友達がいいますか」（R1）



【関連項目のAB評価の合計による比較】（R1）

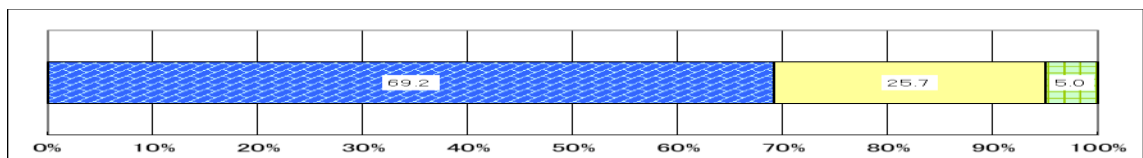
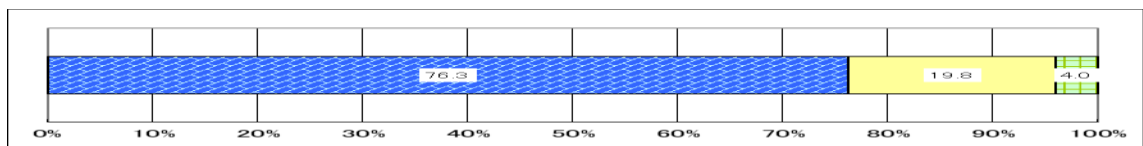


生 徒：困ったことがあったら、相談できる友達がいいますか

保護者：お子さんには、困ったことがあった時に相談などのできる友達がいいますか

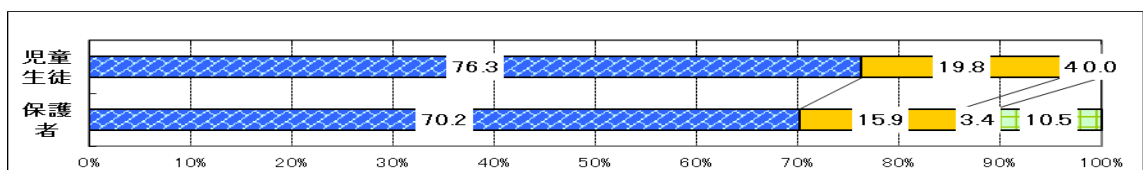
- ・生徒のアンケートから 90%以上の生徒は相談できる友達がいる。一方、保護者は 71%と生徒より低く、また「わからない」と回答した保護者が 17%もいる。

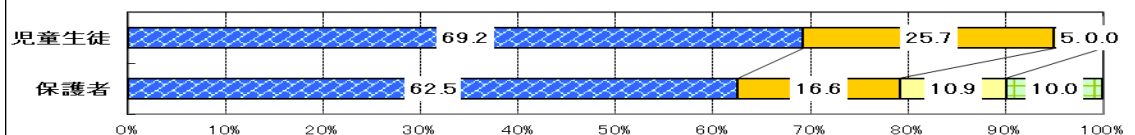
⑩「困ったことがあったら、相談できる先生がいいますか」（上段 H30 下段 R1）



- ・「相談できる先生がいる」は、昨年度より下がっている。

【関連項目のAB評価の合計による比較】（上段 H30 下段 R1）



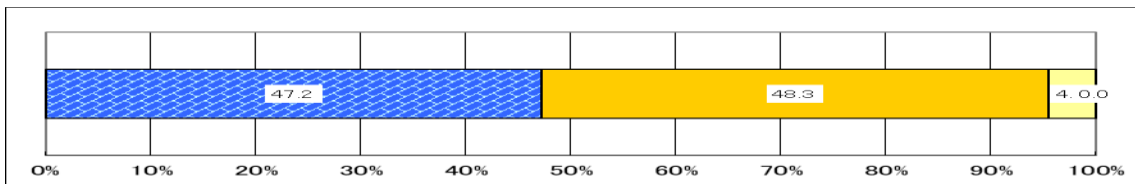


生 徒（上段）：困ったことがあったら、相談ができる先生がいますか

保護者（下段）：お子さんのことで、相談できる先生がいますか

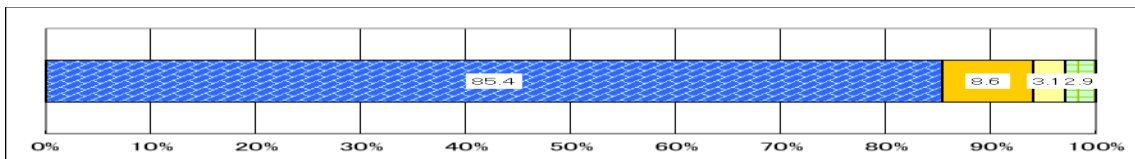
・A 評価は生徒/保護者とも 6 割から 7 割である。

④「人が困っているときは、進んで助けていますか」（上段 H30 下段 R1）

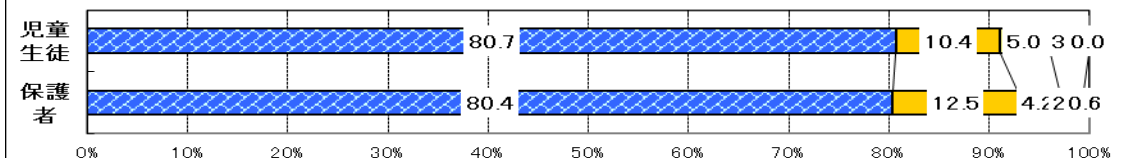
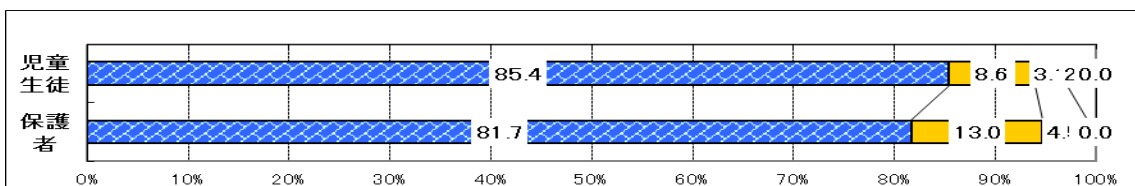


・昨年度より「進んで助ける」は若干低くなっている。

⑪「朝ごはんを食べて登校していますか」（上段 H30 下段 R1）



【関連項目の AB 評価の合計による比較】（上段 H30 下段 R1）

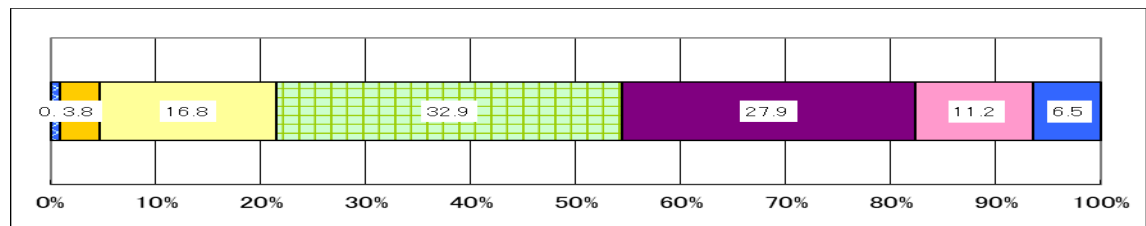


生 徒（上段）：朝ごはんを食べて登校していますか

保護者（下段）：お子さんは、朝ごはんを食べて登校していますか

・朝ご飯について保護者は AB 評価が改善しているが、生徒は AB 評価が下がっている。

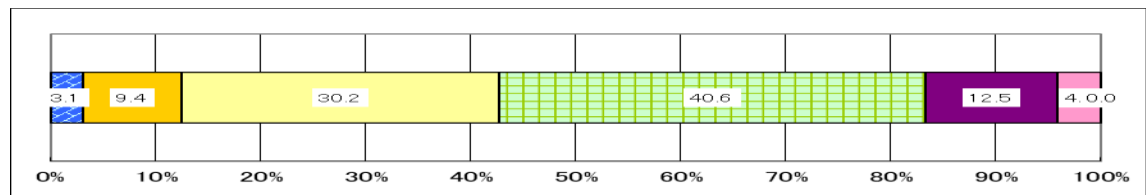
⑮月曜から金曜日までは、何時くらいに寝ていますか（保護者：平均睡眠時間はどれくらい）



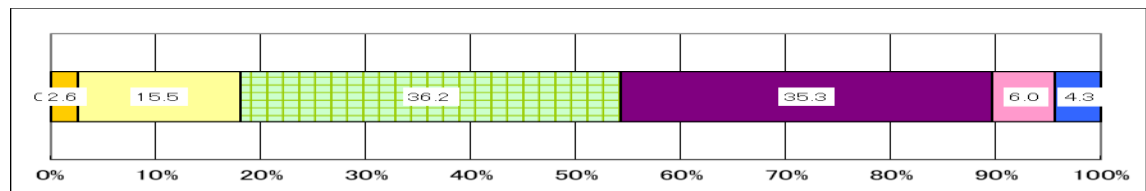
A:10 時間以上 B:9 時間 C:8 時間 D:7 時間 E:6 時間 F:5 時間 G:5 時間未満 H:わからない
・保護者は 8 時間 32.7%, 7 時間 41.1%と多いが、生徒は 6 時間も 29.9%もいる。また 5 時間未満も 11.9%ある。生徒は保護者が考えているほど睡眠をとっていない。

【今年度の学年別でみた結果】

〈1 年生〉



〈2 年生〉



〈3 年生〉

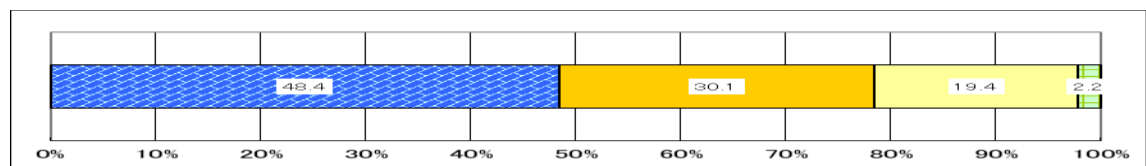


A:午後 8 時前 B:午後 9 時前 C:午後 10 時前 D:午後 11 時前 E:午前 0 時前
F:午前 1 時前 G:午前 1 時過ぎ

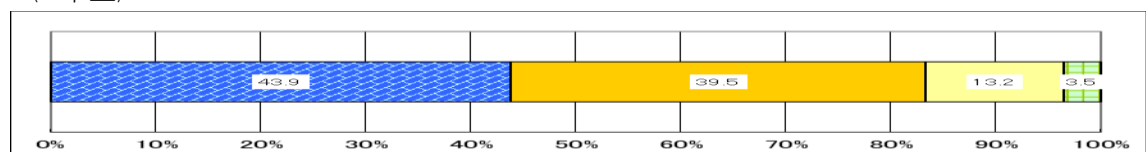
1 年生では 11 時前までに寝ている生徒は 8 割いるが、2 年生では 5 割、3 年生では 3 割である。1 時過ぎに寝ている生徒（青色）は 2 年生では 1 割弱、3 年生で 1 割以上いる。

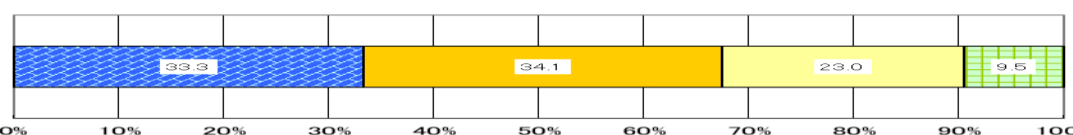
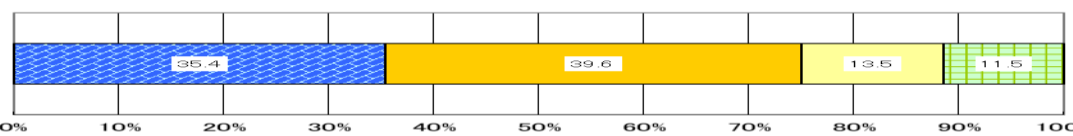
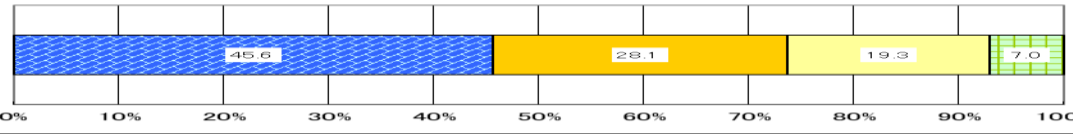
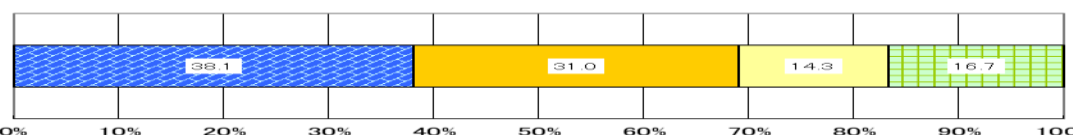
⑭家の人と学校での様子を話していますか。

〈1 年生〉



〈2 年生〉

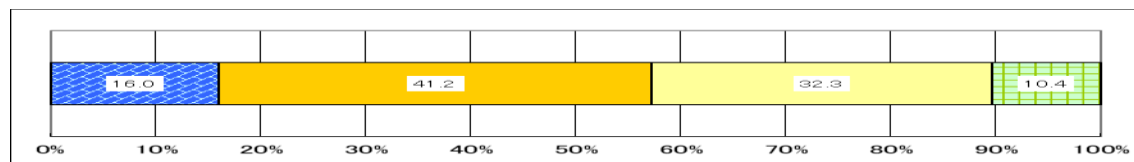
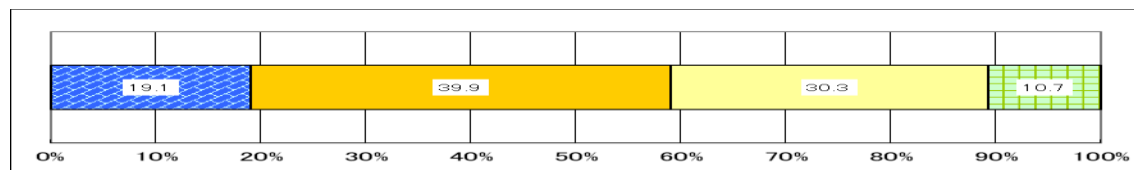


	〈3年生〉  0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ・家の人と話をしている割合は2年1年3年の順である。3年生で家の人と話をしていない生徒が1割近くいる。 ⑳将来の夢や希望をもっていますか。 〈1年生〉  0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 〈2年生〉  0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 〈3年生〉  0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ・夢や希望については、学年を追うごとにAB評価の合計は低い。2年生はA評価が高い。
改善策	・「学校楽しいですか」「仲の良い友達はいですか」「困ったことがあったら相談できる友達いますか」において昨年度同様AB評価は高い。甲斐市では生徒間の人間関係の理解を深めるQ-Uテスト、各学期1回のいじめアンケートを毎年実施している。これらの結果から教職員が把握できていない事例に対しても、速やかに学年会議や職員会議、生徒指導部会でその結果を共有する時間を設け、相互に情報交換し事例によっては外部機関との連携を行うなど、よりよい解決を図ってきた。「困ったことがあったら、相談できる先生いますか」において、全校では7割弱の結果である。生徒が気軽に悩みを相談できるよう全教師で確認し意識していく必要がある。今後もこれらの取組を継続しいじめの根絶と、生徒一人一人に目を向けよりよい学級生活が送れるよう努めていきたい。 ・「人が困っていたら進んで助けていますか」⑳「将来の夢や希望をもっていますか。」について、昨年度以上に高い数値を示している。今後も道德の時間を要として心の教育や生き方教育を推進し、より多くの生徒が、夢や希望をもって生き生きと生活できるよう支援をしていきたい。 ・生活リズムの乱れは睡眠にも起因する。朝ごはんを食べている割合は高いが、睡眠は、全体的に改善を要する生徒が多くいる。また保護者の把握している時間と生徒の睡眠時間に差異がある。生活リズムの乱れが、学校生活や学習にも影響することを考えると、家庭と学校が協力して現状を理解し改善していく取組を考えていく必要がある。
V	地域との連携について
達成状況	・最頻値がA評価になっている観点が4、B評価になっている観点が5で、達成度が低い傾向にある項目の一つである。AとB評価の合計は、9観点中6観点で90%以上となっている（昨年度は9観点中7観点）。

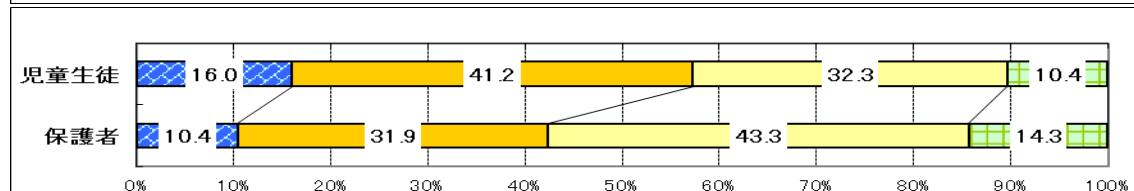
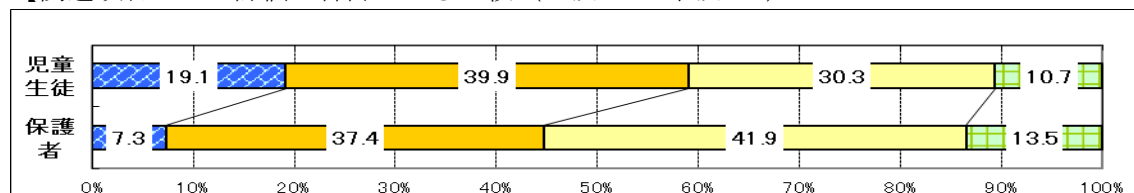
況

※「生徒アンケート」全校集計より

⑩今住んでいる地域の行事に参加していますか（上段 H30 下段 R1）



【関連項目の AB 評価の合計による比較（上段 H30 下段 R1）



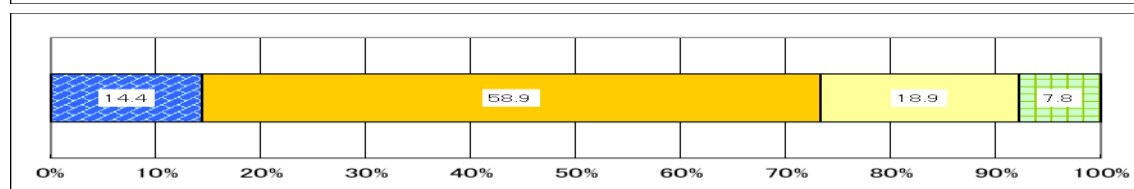
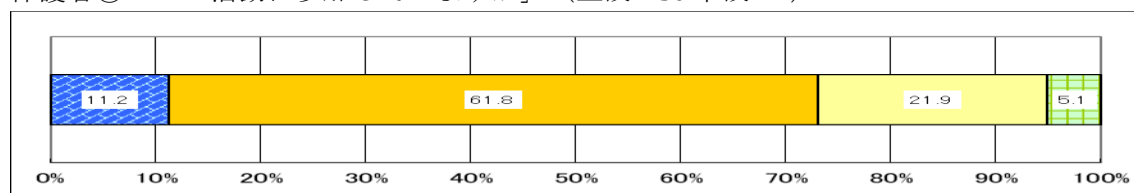
生 徒（上段）：今住んでいる地域の行事に参加していますか

保護者（下段）：お子さんは今住んでいる地域の行事に参加していますか

A:よくしている B:だいたい参加している C:あまり参加していない D:参加していない

・生徒の参加率への意識は若干下がっている。しかし4割以上は C:あまり参加していない, D:参加していないと回答している。

保護者⑩「PTA 活動に参加していますか」（上段 H30 下段 R1）



A:よくしている B:だいたい参加している C:あまり参加していない D:参加していない

・PTA 活動に参加している保護者の AB 評価は昨年度とほぼ同程度だが, A 評価の割合が上昇している。

改善策

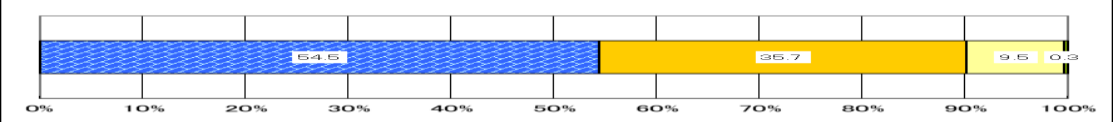
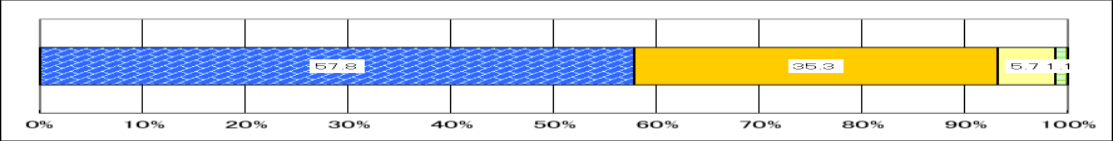
・「保護者の PTA 活動への参加」が昨年度より上昇している。また「生徒の地域の行事に参加」もほぼ昨年度同様の数値である。保護者や保護司の正門でのあいさつ活動や生徒会のあいさつへの取り組みや、地域に出向いての清掃活動など様々な活動を行っている成果であると思われる。今後も開かれた学校を目指し、継続して活動を進めていきたい。
・教職員の「地域の人材活用・施設活用」「保護者や地域の願いに応えるため要望を聞くな

	ど情報収集を行っている」「保護者は、学習指導や生活指導に協力的である」において B 評価が最頻値である。学校運営委員会や学校関係者評価委員会等、地域や保護者の声を聞く機会を利用し、地域人材や地域の要望を聞いたり、保護者への協力を促したりして、教育活動に生かしていきたい。
--	---

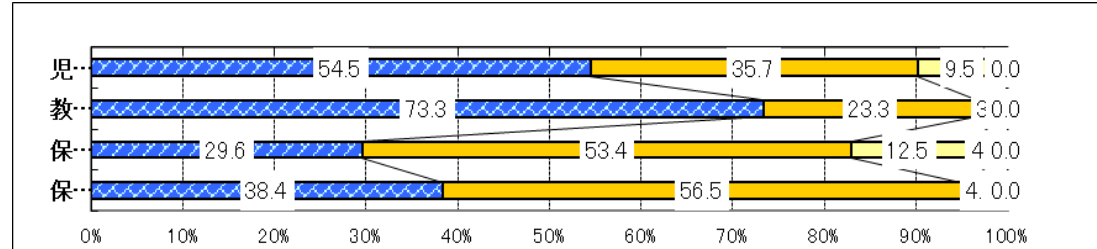
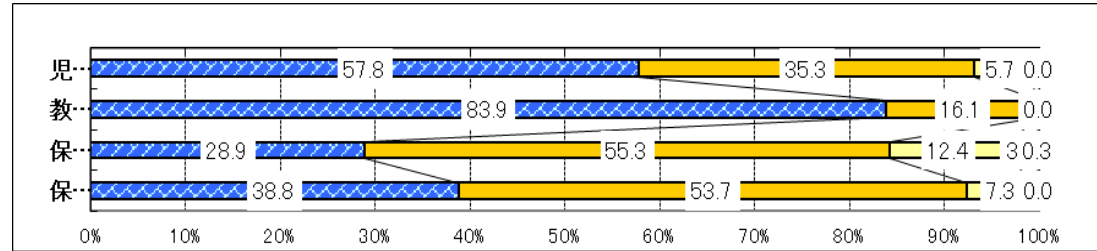
Ⅵ 学校の特色に関して

達成状況

- ・全 6 観点で最頻値が A 評価となっている。（昨年度も同様）6 観点中 5 観点で A と B 評価の合計が 100% になっている。
- ※「生徒アンケート」全校集計より
- ⑱「地域の人と出会ったら挨拶をしていますか」（上段 H30 下段 R1）



【関連項目の AB 評価の合計による比較】（上段 H30 下段 R1）



生 徒：地域の人と出会ったら挨拶をしていますか

教職員：生徒が進んで挨拶をするよう、指導に努めている

保護者①は地域の人との挨拶、保護者②は家庭での挨拶

・9 割の生徒が地域の人に挨拶をしているが更に取り組んでいきたい。

3 まとめ

<成果と課題>

- ・本校には生徒指導上の諸問題がかつては多くあり、甲斐市教育委員会をはじめとした関係諸機関と連携する中で、それらの問題解決を図ってきた。様々な取組を経て今では落ち着いた学校生活を生徒たちは送っている。しかし今後も危機管理意識をもって、この状態を維持・向上させられるよう、職員一丸となって安心安全な学校・玉中教育のさらなる向上に努めていきたい。
- ・保護者・保護司・生徒による朝のあいさつ運動や、地域への清掃活動を継続的に行っている。また 3 年目となる 9 月の学園祭の前に保護者・生徒で校庭及び周辺の除草作業を行ったが保護者の参加率は高い。こうした取り組みにより、家庭や地域との連携が更に図られ、数値的にも

「V地域との連携」の項目において、良好な状況となっている。今後もさらに地域に開かれた玉幡中を目指し、継続していける取組を常に考えていきたい。

- 地域や家庭との連携を推進するため、三者懇談や授業参観日のない月を中心に、月に3日、学校開放日を設け地域に開かれた学校に取り組んでいる。ただ昨年度同様、学校開放日が合唱祭や総体の壮行会など行事等に重なるときは、保護者も比較的多くが来校するが、そうでない時の来校者は極少数である。地域の方が来校することはほとんどない。来校者が少なくても、いつでも気軽に来られるような状況は大切であると考え今後も同様の取組は継続するとともに開放日の広報も必要であると考え。地域や家庭との連携を深める有意義な機会となるよう、更に改善方法を考えていきたい。
- 校内研のテーマに「学力向上」を掲げ、「家庭学習の充実」「帰りの会の前の授業の振り返り」「やりとり帳による担任と生徒とのつながり」など学校では様々な取組を行って学習面精神面で生徒指導に努めている。しかしアンケートにもあるように、学校での授業「忘れ物・発表・発言・質問」等の課題や、家庭での睡眠時間や学習時間についての基本的な生活習慣の見直し等、学校と家庭が連携して取り組む必要があることについて、今後更に改善策を考えていきたい。
- これからも特色ある学校づくりを目指し、地域や保護者から信頼される学校を築くよう努めていきたい。